

# Fraser Letter

2018年11月 No. 44



## 秋、文学。

灯火親しむの候。  
この秋も名作に挑戦！

名作のご紹介  
～ロシア編～

## 戦争と平和 トルストイ著

ナポレオンのロシア侵攻を背景に、二人の主人公、青年貴族アンドレイとその親友ピエールの生涯が語られる。アンドレイは戦死、ピエールは捕虜になったが開放される。二人の主人公の生涯を通して新しい時代への目覚めを描いた世界文学史に輝く不朽の名作。ピエールは著者の分身と見られる。

請求記号 983/To47

## 罪と罰

ドストエフスキー著

鋭敏な頭脳を持つ貧しい大学生ラスコーリニコフは、強欲非道な高利貸の老婆を殺害し、その財産を有効に利用しようと企てるが、偶然その場にきた妹まで殺害してしまう。予期しなかった第二の殺人が心に重くのしかかり、彼は罪の意識におびえるのだった。――強烈な人間回復への願望を訴えたヒューマニズムの書として不滅の価値に輝く作品である。

請求記号  
983/D88

## 白夜 ドストエフスキー著

ペテルブルクに住む貧しいインテリ青年の孤独と空想の生活に、白夜の神秘に包まれたひとりの少女が姿を現わし、夢のような淡い恋心が芽生え始める頃、この幻はもろくくずれ去ってしまう。1848年に発表された愛すべき短編である。

請求記号 983/D88

## カラマーゾフの兄弟

ドストエフスキー著

物欲の権化のような父の血を、色濃く引いた三人の兄弟と、一人の私生児。これらの人物が作り出す愛憎の地獄絵図の中に、神と人間という根本問題を据え置いた世界文学屈指の名作。

請求記号 983/D88



ご紹介した図書は

すべて1Fの文芸本

コーナーにあります。